

NPO 法人ぶるすあるは 第7期事業報告

ごあいさつ

平素より、当団体の活動に多大なご理解、ご協力をありがとうございます。

NPO 法人ぶるすあるはは、精神障がいなどをかかえた親、家族、その子どもたちを応援している団体です。

第7期のさまざまな取り組みについて、事業報告をまとめましたのでご覧ください。絵本制作では『ゆるっとこそだて応援ブック』が10月に完成しました。『生きる冒険地図』(学苑社)とあわせて、子どもと子育て、家族全体を応援する絵本シリーズです。活動のもうひとつの柱、サイト「子ども情報ステーション」は、今期もおよそ100万人の方が訪れ、開設からの累計ユニークユーザーが500万人になりました。たくさんの方に活用いただいています。

そのほか、さいたま市絵画展、サポーターのみなさまを介しての絵本やチラシの配布などに取り組みました。

近年、「ヤングケアラー」支援の動きや注目が加速しています。大切なことだと感じると同時に、言葉の注目から外れる子どもたちのことが気がかりでもあります。ぶるすあるはとして、なにを大切に情報発信していくのか改めて考える機会になっています。コロナ禍の先行きも見通せませんが、変わらず、少しでもホッとできるメッセージ、情報を、広げ届けていきたいと思います。

この一年をサポートくださったみなさまへ心から感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

子どもたちと、まわりの大人のみなさんの力を信じて。

2021年12月

NPO 法人ぶるすあるは

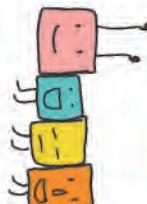
代表理事 北野陽子



事業報告書ウェブページ

ぶるすあるはのHP「事業報告および決算方向」のページ
https://pulusualuha.or.jp/about/annual_report/

- 1 第7期事業報告書、活動計算書、貸借対照表（別ページ）
《第7期事業報告》
- 2 サイト「子ども情報ステーション」500万人
- 3 『ゆるっとこそだて応援ブック』
- 4 声をありがとうございます
- 5 実績（メディア掲載、講演、制作物ほか）
- 6 さいたま市絵画展レポート
- 7 役員、スタッフからのひとこと 第8期へ
- * コンテンツ年表（10年のあゆみ）



表紙のイラスト「きもちの虫」

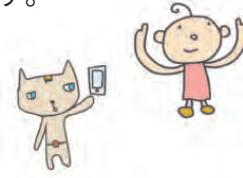
きもちいろいろをつなげてみました。そしたら…

かわいい虫に大変身。（ちょっと足がうじゅうじゅしてるけど ^_^）
どんなきもちもだいじょうぶ。チアキ

2 サイト「子ども情報ステーション」500万人

子ども情報ステーション <https://kidsinfost.net/> は、ぶるすあるはが運営する、精神障がいやこころの不調、発達凸凹をかかえた親とその子どもの応援サイトです。

2015年8月の開設からのページビュー(PV)が1,000万!ユニークユーザーが500万人になりました!ここ数年は、年間100万人くらいの方が訪れてくださっています。



PVの多い記事トップ5

- 1 精神科の受診を考えている方へ
- 2 イラストで学ぶ発達障害
- 3 感覚過敏と鈍麻
- 4 イラストで学ぶ双極性障害
- 5 イラストで学ぶ強迫性障害

上位には「イラストで学ぶ病気や障がい」のコーナーのページが並びます。つづいてダウンロードコーナー。セルフケアやコミュニケーションツールなど。

7期の新着記事・情報

「みんなのアイテム活用法」
3ヶ月毎にコラムで紹介しています

- ・親が精神疾患をかかえている子どものための絵本(一覧)

絵本のラインナップがふえてきました。チラシにもできるリストを作りました。

- ・精神疾患やこころの不調をかかえながら子育てしている親の集い

全国の情報を集約しているコーナーです。(子ども・パートナー・きょうだいの集いの情報も)

- ・「ヤングケアラーのみなさんへ」

大人向けではなく子どもたち向けのページがあるといいと思い新たに作りました。イラストをダウンロード素材として公開しました(次のページ)。教育機関など利用申し込みが定期的にあります。

- ・コロナ禍と病気と『子どものそだちとくらし』-取材記15

こころの不調をかかえた親、家族、子どもの支援~幅広いエリアからこのテーマにかかわっている団体さまに取材し、15本の記事を公開しました(6期~7期)。

有限会社オラシオン、三家クリニック、はぐはぐ、きょうかれん、一般社団法人日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト担当理事、CCAP、NPO法人レジリエンス、だんだん・ばあ、広島市要対協、アースポート、函館中央病院小児科チーム、こどもソテリア、ダルク女性ハウス、のみなさま、児童精神科医Fさん、養護教諭E/Hさん、ありがとうございました。

子ども情報ステーション 6年間の歩み

月ユーザー数

200,000

100,000

2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年

バズらなくても...
いつ来ても安心して見られて
なにかを持って帰れるような
サイトをつづけていきます

ヤングケアラーさんのきもちはいいろ

わからない
なんて?
不安 心配 さびしい
信じられない 混乱 話したい
悲しい 自分のせい?
もっと頑張らなさい
良い子でいるのも疲れ
気がついてほしい 知りたくて
いっしょに遊びたい 自分の好きなことをしたい
周りの人はどう思われているの?
いいろを考える自分がキライ
かわいいそうじやない

キレイ 好き
信じない 感じない
話したくな
知りた
目がけてほ
決めつけないでほしい
ヤングケアラーと言あれたくな
TPAしないことは悪いこと?
TPAしていることが人生のプラスにならなくて
言わなくてほしい

イライラ 調子の良い日は気にならない
怒り この先どうなるの?
ウザイ お金はあるの?
カツク 進学したい
疲れ 疲れ
面倒くさい はづかしい
イヤだ

大人なんだから
自分のことは自分でやって
自分の人生は自分で決めたい
見えてないことはしないで

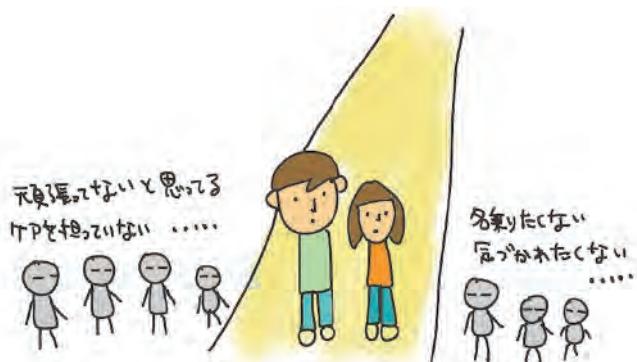
大人へのキモチはいいろ



ヤングケアラーのみなさんへ

いつも年齢以上の役割をしてくれてありがとうございます。
しんどい、こもった、わからない、もういや……って
気持ちになってしまいか?

そういう気持ちになることは当たり前なんです。
大人の役割を引き受けることは大変です。
むづかしいと思うけど、あなたの「しんどい」を
大人のちにあたして下さい。大人のかを使って下さい。
子ども時間はあなたのものです。
大人がするべきことは大人にまかせて
子ども時間を自分のために使って下さい。



ヤングケアラーの言葉の注目から
外れる子どもたちも応援したい

3 『ゆるっとこそだて応援ブック』

2020年10月、『ゆるっとこそだて応援ブック』（自主制作本）が完成しました。

精神障がいなど、さまざまな事情をかかえながらの子育ての応援をテーマに作りました。完成した絵本は、どなたにも幅広く利用いただける内容になりました。『生きる冒険地図』（学苑社,2019）の姉妹本でもあり、子ども・子育て両方を応援するシリーズです。

本を広げるためのクラウドファンディング（9/25-10/30）では、464人(!)の方から、2,596,155円のご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

※企画を後押しいただいた日本精神保健福祉士協会さん経由（推薦）の128箇所（児童思春期精神科のある病院や、社会福祉協議会、官庁、関連団体など）へ絵本寄贈も行いました。



『絵本で届けるこどもこそだて応援プロジェクト』

10名の「絵本サポーター」さんを公募し、2種の絵本を5冊ずつ、合計100冊を届けて活用いただく取り組みを行いました。活動レポートは、実際に子どもさんと読んだり、親御さんと読んだり、教員など支援者の間でも共有していただいたり… 絵本活用のイメージが具体的にわくものでした。サイトにも公開しています。こんなふうに使ってみようという広がりにもつながったら嬉しいです。第2弾を8期に行います。※今回のプロジェクトは、フィランソロピー協会様の誕生日寄付でいただいた寄付金を使わせていただきました。ありがとうございました。



生きる冒険地図 [ウェブ版]

ほぼ全てのページを公開しました
「アクセスしやすくなるといいな」

4 たくさんの声をありがとうございます



アンケート全文

毎年行なっているサイトご利用アンケート。この一枚におさまらないたくさんの声をいただきました。サポーター登録時の応援メッセージ、読者カードにも励まされています。ありがとうございます。声をいくつか紹介します。

- ・親が孤立せず子育てできるようにもっと子育てについて情報が欲しいです。
 - ・100%受け止めるだけのページがあっても良いかと。。。
 - ・受け取り側に合わせるとそのまま使えないこともありますが、間接的にお伝えする方法としてとても良いです。
 - ・実際に思春期の（夫は学校現場で、私は相談業務で）方に読んでいただくにはよく注意してみないとならないなと感じます。
 - ・もっともっと色々な専門家からの情報収集と情報発信をお願いしたいです。
 - ・むずかしいと思いますが、絵本もダウンロードできればいいのですが…
- ・ゆるっと子育て応援ブックよかったです。自分の中の固定観念がゆるつった気がします。
- ・自分一人でないと思えた。精神障害で子どもを保育園へ通わせるのも理にかなっていると納得できた。体調が悪くても自分を責めなくなったり。PTA役員などを辞退することも悪いことではないと思えた。
- ・いざというときに読めるお守りのように持っています。
- ・生きる冒険地図は、子どもたちと共有した際、子ども自身が興味を持って読んでいました。普段の生活の中では気付きにくいことに気付けたり、明日を生きる力になってくれたりしているように思います。
- ・生きる冒険地図を読んで、とても心が楽になったような気がします。中学生の時にこの本に出会っていたらもう少し楽に生活できたのかなって思いました。
- ・ダウンロード資料のストレスコップなど、自分でスケーリングできる資料をきっかけに自己理解や他者理解が進みました。
- ・ダウンロードをして保健室での掲示物に活用して、とても効果があった。
- ・ぱるす工房の工作を仕事場で活用しています。使用用途がわからなくても、子どもたちは自然に楽しく使っています。
- ・勤務先の学校で、保健室や支援学級にプラスアルハのダウンロード素材が何気なく置いてあるようになりました。
- ・専門でない人（担任、教育実習生）に読んでもらうことが多いですが、様々な事情で苦戦している子のイメージが一冊で即伝わるのでありがとうございます。専門書や役所の文書は読んでもらえないが、絵本は皆すぐ読んでくれます。
- ・手描きイラストやコメントの柔らかさと、必要な情報・知識のバランスがいいと思います
- ・支援者としても、家族としても、子ども情報ステーションサイトは参考にしています。ただ学べるだけでなく、気持ちがほっこりするイラストや言葉が好きです。いつもありがとうございます。



ダウンロード素材などを具体的に活用しています、という声を多くいただき嬉しいです。改善点については、隨時、進捗状況をサイトに追記していきます。慎重に使う必要性の声もいただき、活用法についてのより丁寧な発信が課題だとも感じます。

「息の長い活動になりますように。一人でも多くの人に届きますように。」

ありがとうございます。そうなるように、ひきつづき取り組みます。

「言いっぱなしメール」「チアキの子どもメール相談」はじめました



声から生まれた取り組みです

5 実績～メディアテーマ掲載・講演・制作物ほか

メディア掲載では、ヤングケアラーについてのテーマが多かったです。講演活動は、たくさんお受けはできていない状況ですが、直接のメッセージをお伝えする機会を大切にしています。

1) メディア掲載・原稿執筆

- ・[連載]2019.10～ 月刊みんなねっと 表紙
- ・2021.09.30 NHK「あがるアート」に掲載(instagram)
- ・2021.09.01 日本看護協会出版会ブックレット 11 「ヤングケアラーを支える」
<コラム> どんなきもちもあって大丈夫
- ・2021.08.21 朝日新聞「病気の親を支える子に理解を」
- ・2021.07.29 朝日新聞「絵本の中に、ヤングケアラーだった私
元当事者の女性、母親のうつ病描くドイツの本翻訳」(コメント掲載)
- ・2021.07 生き方・いろいろ・ゆたかな人生～男女平等推進 from むさしの「まなこ」第111号「自分の人生は自分のもの。自分の道を歩いていいんだよ。」(東京都武蔵野市)
- ・2021.07.01 女性のひろば 7月号 ヤングケアラーファミリーのケアを担う子どもたち「絵の力で伝えたい一人じゃないよ」
- ・2021.05.24 ラジオ TOKYO FM「ONE MORNING」の「Letter for the next」コーナーにて活動紹介
- ・2021.05.12 NHK「SOSが出せないヤングケアラー そのわけは？」イラスト掲載
- ・2021.05.01 月刊みんなねっと リレー連載「リカバリーをめぐって、対話のように」⑧
「回復は、上書きありの終わりのない表現？」
- ・2021.04.09 毎日新聞「大麻摘発 最多5034人 背景に「若者の孤立」」(コメント掲載)
- ・2021.04.08 東京都社会福祉協議会機関誌「福祉広報」「くらし今ひと」の会報誌
- ・2021.03.31 日本子ども学会誌チャイルドサイエン Vol.21《トピックス》精神疾患のある親と暮らす子どもたちを応援する
- ・2021.03.15 心と社会 52巻1号日本精神衛生会 書評「生きる冒険地図」
- ・2021.3 埼玉県養護教諭会広報誌「みんなで学ぼう 117号」
- ・2021.02.10 日総研こどもと家族をのケア隔月刊誌 2021年2・3月号「親が精神障害を抱えていたら… さまざまな事情を抱えた親を持つ子どもへの支援ー小児にかかわる看護師に伝えたいこと」
- ・2021.02.09 NHK NEWS WEB「大丈夫だいじょうぶ、子育てはゆるっとでいい」
- ・2021.02.01 メンタルヘルスマガジン こころの元気 plus「ちょっとオススメ」(ゆるっとこそだて応援ブック)
- ・2021.01.30 東京新聞「コロナ疲れ」あなたは大丈夫？相談増加・・・心と体のセルフケアを
- ・2021.01.22 埼玉新聞「いろんな気持ち 大丈夫」24日まで大宮図書館ふるすたは絵画展
- ・2020.10.18 毎日新聞デジタル版「ヤングケアラーに届く言葉を 埼玉のNPOが支援へウェブページ」
- ・2020.10.14 「日刊！さいたまねっと」NHKラジオさいたま放送局、電話生出演

市内の中学生全員に
配布される冊子に
のせていただきました



公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は、精神に障がいのある方の家族が結成した団体です。月刊誌の表紙連載も2021年10月から3年目になりました。毎月の絵を選ぶのは、チアキにとっても、ちょっとした楽しみになっています。「手にとった人が楽しんでもらえたら嬉しいです」

2) 講演など () は参加者概数

- ・2021.06.25 東京福祉専門学校 講義 (31)
- ・2021.06.03 埼玉県立大学 健康相談活動 講義 (34)
- ・2021.05.23 親＆子どものサポートを考える会「第7回精神障害のある親とその子どもたちの支援に関する学習会」にて活動紹介 (111)
- ・2021.05.15 養育者支援プロジェクト定例研究会 情報提供 (20)
- ・2021.04.19 成蹊大学 講義 (16)
- ・2021.03.17 子どもの虹情報研修センター研修 (475)
- ・2021.03.16 さいたま市要保護児童対策地域協議会研修会 講義 (60)
- ・2021.02.21 大阪教組河内ブロック女性部研修会 (50)
- ・2021.02.20 第55回日教組近畿ブロック養護教員部交流学習会 講演 (100)
- ・2021.02.18 専門学校 精神保健福祉相談援助 講義 (17)
- ・2021.02.02 アルコール依存症回復施設職員研修会 (40)
- ・2020.12.13 ヤングケアラープロジェクト勉強会 (15)
- ・2020.12.03 専門学校 精神保健福祉相談援助 講義 (47)
- ・2020.11.28 ゆるっとこそだて講座 (25)
- ・2020.11.16 埼玉県立大学 健康相談活動 講義 (20)
- ・2020.11.07 第8回全国版子どもの集い・交流会「学校教育における子どもの支援」(話題提供)(55)

3) 学会、イベント発表など

- ・2021.02.13 学校メンタルヘルス学会シンポジウム「学校の中のメンタルヘルス教育の位置づけと実践例」

4) イベント出展

- ・2021.08.16-22 ぶるすあるは絵画展&高次脳機能障害って？(さいたま市高次脳機能障害啓発事業)
- ・2021.01.18-24 ぶるすあるは絵画展&高次脳機能障害って？(さいたま市高次脳機能障害啓発事業)
- ・2020.11.28-20 日本子ども虐待防止学会第26回学術集会いしかわ金沢大会@オンライン

5) 定期刊行物

- ・親がこころの不調をかかえたときの子どもと親のケアガイド(ぶるすあるはのチラシ)
2021年春夏号／2020年冬号＊A3両面

6) 制作コラボレーション

- ・かながわ福祉サービス運営適正化委員会 ポスター・リーフレットのイラスト制作
- ・NPO法人だんだん・ばあのトリセツ(小冊子) イラスト・作成
- ・NHK首都圏ナビ、ヤングケアラー特集ページ サムネイルバナーのイラスト制作
- ・さいたま市高次脳機能障害者支援センター「高次脳機能障害ブック2」イラスト・編集

支援の流れと福祉・介護サービスの
ページなど、わかりやすいと好評です
サイトでも公開しています





6 さいたま市絵画展レポート ーぶるすあるは絵画展&高次脳機能障害って？ー

さいたま市高次脳機能障害者支援センターと共に、さいたま市立大宮図書館で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初予定していた絵画展（2021.1.18-1.24）は縮小展示＋オンライン開催で、フル開催を2021年8月16日-22日の日程で行いました。

アクリル絵の具の作品がおよそ50点、絵本の原画のレプリカが22点。新しい建物の白い壁、上品な空間に、ゆったりとした展示がとても映えました。

情報コーナーには、共同制作した高次脳機能障害にかんするもの、子ども支援関連のもの、コロナ禍での支援情報、セルフケアアイテムほか、たくさんのポスター・パネル、パンフレット類を設置しました。

また、大宮図書館ともコラボし、作品展示やアイテム配布、塗り絵の展示を行いました。

会期中、およそ1800人の方に展示をご覧いただきました。

図書館、区役所のある複合施設ですので、建物へ来た方が多くお立ち寄りくださいました。夏休みで家族連れも多く、子どもたち、若者たちが真剣に絵や絵本をみてくれていた姿が印象的でした。

「いろんなきもちだいじょうぶ。」のメッセージとともに、ぶるすあるはの活動、高次機能障害についての情報が広がった幸いです。

お越しいただいたみなさま、開催にあたってお力をいただいた
全てのみなさまへ、深くお礼申し上げます。

アルバム（次のページ）

B	A		C
D	E	F	
G	H	* J K L *	
M	N		

- A 「ぐるぐるの子どもじかん」
- B 情報コーナー 高次脳機能障害情報ほか
- C 絵本コーナー 子ども子育て3部作
- D 「泣いていいよ」
2018年度東京都児童虐待防止普及啓発ポスター 原画
- E 「ロボット」
- F (無題)
- G (リアルロボット)
- H (ダンボールの街)
- J 「デビルエンジェル」
- K 「夜のピアニカ」
- L 「ピンクのネコさんこんにちは」
- M (恒例のディープゾーン)
- N 「赤い髪のあの子」

オンラインギャラリー



試行錯誤の
ギャラリー
ページ ...



7 役員・スタッフからのひとこと

今年度はぶるすあるはの活動開始から10周年を迎えます。皆さまとのご縁を力にこれからも一步一歩前に進んでいければと思います！

副代表 芦高



オンラインの普及は新しいつながりを多く生みだし、ウェブサイト以外にもぶるすあるはの活動を広く知ってもらうことができたのではないかと思います。

必要な人に知ってもらえる、しっかり届く。そのような活動を後押しできるよう、引き続き暖かい支援のほどよろしくお願ひします。

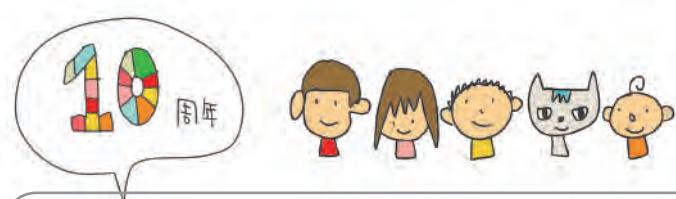
監事 池山

活動が円滑に行えるよう、微力ながら事務局の仕事を頑張ります！

事務担当 yuko



目の前のことこつこつがんばります。チアキ



第8期のぶるすあるは

- ・『生きる冒険地図』『ゆるっとこそだて応援ブック』の子ども子育て応援の絵本を広げる取り組みを続けます（絵本サポーター第2期・200冊ほか）。
- ・アプリ『おたすけこてん』のコンテンツ制作を行います。子どもたちがスマホで情報にアクセスできるアプリ、新たなチャレンジです。
- ・新たな教材の制作に取り組みます。
- ・ぶるすあるはのペースや視点を大事にしながら、ヤングケアラー支援関連の発信をつづけます。
- ・毎日のSNS発信を続けるとともに、新たなSNSチャンネルにもチャレンジし、若い世代の人たちへの情報発信を行います。
- ・書籍の表紙にチアキの絵が登場します。

プラスアルハが立ち上がり、10年が経ちました。子ども達は誰かと繋がっているのだろうかと、活動してきました。“マスクの顔”が当たり前となり、知らない大人と繋がるには、今まで以上にハーダルが高くなっています。辛い気持ちや閉ざした気持ちを絵の中で表現する“ぶるすあるは”的活動は、繋がりの形が多様化した今こそ必要だと思っています。

子どもの心に寄り添っている「ぶるすあるは」みんなで応援してゆきませんか？

よろしくお願ひします。

理事 吉岡幸子



2020年の4月、（フライングしてしまった）10年目のスタートのときに、設立からこれまでにサポーターのみなさまからいただいた応援メッセージにひとつひとつ目を通しました。印刷して掲示したら壁一面に！ 励みになるとともに、背筋がのびる想いでいた。サポーターさま、寄付でささえくださっているみなさま、本当にありがとうございます。そして、制作や運営でたくさんの方に今期も活動をささえていただきました。

ありがとうございます。

プラスアルハを始めたとき、10年続くことは想像していました。今は次の10年をみすえながらと思っています。ぶれずに、ありつづけることを大切に。8期もひきつづきよろしくお願ひいたします。代表 キタノ



新キャラ「てん」



るするすあるはコントンツ年表



沿革	絵本・オリジナルコンテンツほか コラボコンテンツほか	一部抜粋しています
— 2012 ブルースアルハ設立	『ボクのせいかも... —お母さんがうつ病になつたの—』 (ゆまに書房, 2012)	『お母さんどうしちやつたの... —統合失調症になつたの・前編—』 (ゆまに書房, 2013)
— 2013	『お母さんは静養中 —統合失調症になつたの・後編—』 (ゆまに書房, 2013)	『お父さんはアルコール依存症—』 (ゆまに書房, 2014)
— 2014	SVP 東京投資協働先に選出 ハルくん全国プロジェクト (2014~)	『ボクのことわすれちやつたの? —お父さんはアルコール依存症—』 (ゆまに書房, 2014)
— 2015	NPO 法人ぶるすあるは設立 「子ども情報ステーション」開設	『わたしのココロはわたしのもの —不登校って言わないで』 (ゆまに書房, 2014)
		『ボクの冒険のはじまり —家のケンカはかなしいけれど...』 (ゆまに書房, 2015)
		『発達凸凹なボクの世界 —感覚過敏を探検する』 (ゆまに書房, 2015)
		日本小児精神神経学会仙台大会 学会ポスターイラスト (2015.10)

— 2016 —

「絵本で届ける保健室あんしんプロジェクト」
絵本を保健室へ寄贈 (2016.2~)

研究協力 「精神障がいのある親と暮らす子どもへの「チーム学校」を基盤とした支援モデルの開発」(科学研究費補助金)

第12回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)
支援者部門 受賞

オレンジリボン運動公式ポスターコンテスト
2016 最優秀賞

子どももゆめ基金による教材作成 (2016-2017)
子どものきもち絵本原画展 開催 HAGISO
(2016.6)

— 2017 —

子どものきもち絵本原画展 part.2 さいたま市役所市民ギャラリー (2017.3)

子どもの気持ち絵本原画展 part.3 さいたま市ノースギャラリー (2017.10)

FITチャリティラン2017 支援先団体に選出

— 2018 —

オンラインストア開設

「みえない子どもたちをみる」大手町ファーストスクエア UBS グループ主催 (2018.10)

— 2019 —

「生きる冒険地図ー子ども×チアキ×ぶるすあるは」国分寺カフェスロー (2019.5)

小平市主催展覧会「だれでもだれかのサポート」 (2019.12)

— 2020 —

『ゆるつっこそだて応援ブック』 (2020)

「いろんなきもちいいじょうぶ」さいたま市高次脳機能障害普及啓発事業・絵画展 (2021.1)

動画「家族にありがとうございます」 (2015)

『ハルのきもちいろいろカード』

『ボクは話せない…』 (2016)
(埼玉県立中央児童相談所協力で作成・埼玉県内の小中学校へ配布)

LINEスタンプ『アルハの日常生活編』
『ハルのきもちいろいろ編』 (2016)

体調ポスター (2016)

「生きる冒険地図」 (自主制作,2017)

和菓子屋さんの本棚企画
チャリティー文房具 (2018~)

啓発動画「親が精神障害の？」with PV プロボノ (2018.10)

「生きる冒険地図、パンフレット等
さいたま市障害者更生相談センター (2018.3~)

『生きる冒険地図』
(学苑社,2019)

埼玉県中央児童相談所 (学校の先生向け性的虐待対応リーフレット) (2019.3)

公益社団法人全国精神保健福祉士連載 (2019.10~)
月刊誌連載

公益社団法人日本精神保健福祉士協会『子ども虐待』
に気づくためのソーシャルワークハンドブックー精神
保健福祉士の強みを活かすー』装丁 (2020.9)



ぶるすあるはの情報発信



子ども情報ステーション



オンラインストア



facebook



twitter



instagram
チアキの



youtube

NPO法人 ぶるすあるは 第7期 事業報告書 2020.10.1-2021.9.30



2021年12月発行
〒338-0012
さいたま市中央区大戸1-14-10-105
Tel / Fax 048-717-5639
<https://pulusualuha.or.jp>

